



9
2023

三重病院

ニュースレター

news letter vol.284

- 01 糖尿病ってどんな病気?
外来からのお知らせ
- 02 三重病院 肥満ヘルシーキャンプ2023
やまばとギャラリー情報コーナー
5病棟の生活のひとコマ⑧
2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
- 03 通所支援事業のひとコマ
異動のごあいさつ
今月のみえツウちゃん
- 04 病院からのお願い／外来診察のご案内

糖尿病ってどんな病気?

皆さん、健康診断(健診)は受けられていますか?! 健診では糖尿病のスクリーニング(簡単な検査)が行われます。糖尿病とは、血糖値(血液中に含まれるブドウ糖の濃度)が適正値よりも高い状態が慢性的に続く病気です。HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー、グリコヘモグロビン)は、過去1~2か月間の平均血糖値を反映する検査で、糖尿病の診断や血糖コントロール状態の指標に用いられます。以下の血液検査値を『糖尿病型』といい、再確認にて糖尿病と診断されます。

- * 早朝空腹時の血糖値126 mg/dl以上
- * 随時血糖値200 mg/dl以上
- * HbA1c 6.5 %以上(基準値:4.6~6.2 %)

糖尿病はその成因により、1型、2型、その他の特定の機序・疾患によるもの、妊娠糖尿病に分類されます。日本では糖尿病全体の9割が2型糖尿病で、遺伝的因子と生活習慣がからみあって発症する生活習慣病です。治療法は糖尿病の種類によりそれぞれですが、いずれも高血糖状態が続くと糖尿病合併症になる可能性があります。

糖尿病慢性合併症の種類

■ 糖尿病に特有な合併症(糖尿病性細小血管症)

三大合併症: 糖尿病性神経障害、
糖尿病網膜症、糖尿病性腎症

■ 糖尿病に高頻度な動脈硬化(糖尿病性大血管症)

心筋梗塞、脳卒中(脳梗塞が多い)、
末梢動脈疾患、糖尿病壊疽*

■ 糖尿病に高頻度なその他の合併症

糖尿病白内障、皮膚感染症、歯周病、癌、
認知症、骨粗鬆症など

*: 神経障害も関与する
(糖尿病療養指導ガイドブック2022. メディカルビュー社, p.190, 2022引用)

厚生労働省が発表した「平成28年国民健康・栄養調査」の推計によると、20歳以上では糖尿病が強く疑われる人(HbA1c \geq 6.5 %)の割合は、男性16.3 %、女性9.3%、糖尿病の可能性を否定できない人(糖尿病の予備

群、6.0 \leq HbA1c<6.5 %)の割合は、男性12.2 %、女性21.4 %であり、男性の28.5 %、女性の21.4 %が糖尿病かその予備群であることが示されました。しかし、糖尿病が強く疑われる人のうち、治療を受けていない人の割合は、男性21.3 %、女性25.9 %で、特に50歳未満の男性に治療を受けていない人が多いようです。その理由として「痛みなどの自覚症状や特別な症状がないため」や「仕事あるいは家事が忙しいなど時間的制約のため」があげられています。糖尿病の早期発見と継続的な治療で、糖尿病合併症の発症と進展を阻止し、健康な人と変わらない寿命の確保を目標に出来るようになってきています。健診で糖尿病の疑いを指摘されたら、早めに医療機関を受診されることをお勧めします。

当院内科には糖尿病・内分泌代謝・肥満症の専門医が常勤し、1~2週間の糖尿病教育入院、2週間の肥満減量教育入院を行っています。糖尿病の治療は年々進歩してきますし、各々のライフスタイルや年齢、合併症の程度などによって治療方針が変わってきます。入院では、患者さんの置かれた状況をゆっくり話し合い、詳しく検査を行うことで、より最適な治療を選択するのに役立ちます。糖尿病、肥満症でお困りでしたら、かかりつけの先生と相談して、三重病院 糖尿病・内分泌内科を紹介受診してください。

(糖尿病・内分泌内科 橋本 礼 荒木 里香)

外来からのお知らせ

9月

休診
 [心療科] 10/17(火) ... 山崎
 [眼科] 10/20(金) ... 樋口
 [アレルギー科] 10/20(金) ... 長尾

代診
 [アレルギー科] 10/6(金) ... 長尾⇨藤澤
 10/18(水) ... 杉田⇨一木
 10/19(木) ... 一木⇨杉田
 [小児科] 10/25(水) ... 山田⇨有馬

当院の都合で急遽休診が出る場合があります。気になるようでしたら、受診当日、当院までお問い合わせください。